

# KES 登録事業所訪問記

vol. 19



**株式会社和光電設**  
**<主な業務内容>**  
**電気工事及びサービス**  
**<KES 登録日>**  
**2007年1月1日**



福田社長（右）と環境管理担当の山下取締役

今回お伺いしました「株式会社和光電設」さんは、鹿児島市の中心部に近い、鹿児島市原良町にあります。連日の記録的な降灰で、走る車や突風で至る所に積もった灰が巻き上がる、鹿児島特有の環境の中お邪魔いたしました。

**すべては習慣**



KES 登録のきっかけは鹿児島電気工事業協同組合から勧めとのことで、「1年目の電力削減の効果には驚きました。感覚で実行していたのを、数値化とシステム的な推進でここまで変わるとは・・・。」と山下様。

当初は夏28、冬20という設定に戸惑われたものの、次第に慣れてきて今では当たり前になっているとのこと。最近では、よそで乗せていただく車の冷房設定に寒ささえ感じる程。「これも慣れからくるものでしょうね」と社長様も節電効果を実感されている様子でした。「会社だけでなく、自宅でもみんな実践しています」と事業所から家庭へも活動が広がっており感激しました。

加えて節水にも取り組まれている話でしたが、「ここ数日、降灰がひどく雨も降らないとなれば、いつも以上に水は使います。」とのこと。実際、家庭においても降灰が悩みです。

「慣れ」といえばもう一つ。照明一灯ごとにスイッチがついており、席を離れるときや外出するときは、こまめに電気をオフにするように全員で行なわれています。家中のつけっぱなしの電気を消して回るのが日課となっている私としては羨ましい話。ちょっとした工夫で節電につながるお話に、「そのスイッチ、我が家にもほしい」と真剣に思うところでした。

## エコ通勤



「健康管理」と言っても、なかなか継続することは簡単ではない取り組みのひとつではないでしょうか。社長様は、「先日も天文館（鹿児島中心部）まで歩いたよ。40分もあれば着くからね」とウォーキングを心がけていらっしゃる様子でした。

社員の萩原さんは、自宅から毎朝自転車通勤を1年以上前から続けているとのことでした。当初は普通の自転車（いわゆるママチャリ）だったらしいですが、最近スポーツタイプの自転車を購入されたとのことと早速拝見。見るからに速そうで、気持ちよく運転している姿が想像できました。

「通勤」「移動」という時間を、環境と健康に配慮したものに変えて、しかも継続するということは難しいと思います。それを、「楽しみ」に変える社長様と萩原様は、会社内だけでなく、実生活においてもエコ活動を心がけていらっしゃる、よいお手本に感じました。

## 5年目

KES取得から5年目ともなると、取り組みも限界に近づいているとのこと。青焼きの裏紙をコピーしたものの、特殊な紙質からか、印刷時の熱によって紙の成分が機械に付着し断念したことも。

また、現場優先であるため社員は早朝から出社し現場へ向かい、なかなか社員全員が集まることができないのが現状。そこで、社員教育の観点から環境教育担当を設け、個々の視野を広げるために動画での教育することを検討中。

車については、エコドライブ・アイドリングストップ・積荷の見直しは継続され、次は営業車一台一台の燃費データを管理することで、結果運転手の意識を高めることも、思案中とのことでした。

今回で2回目の会社訪問。まだまだ前回同様緊張の連続……。しかし、これも前回同様、社長様と社員の方々の穏やかなお人柄と満面の笑みに、いつのまにか心も和んでいました。帰りの車の誘導も、たまたま帰社された社員さんがしてくだり、最後まで笑顔で見送っていただきました。

九州男児・・・厳しい・頑固というイメージを持っていらっしゃる方が多いと思いますが、「器の大きい、情の厚い」という言葉がぴったりだと感じるころでした。

お忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。

担当 武田